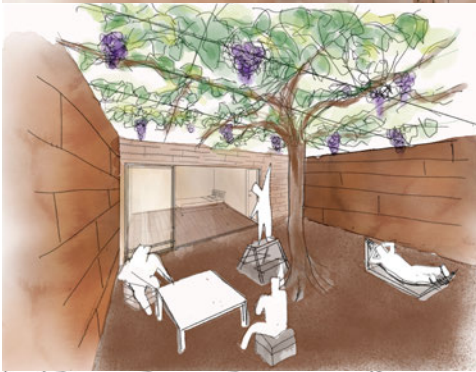


# あそび農市



中村颯太  
建築設計計画 | 研究室

近年、農業従事者の減少が問題になっています。私の住む山梨県もその影響を受けており、農家の高齢化が問題になっています。前期の期間はリモートでの授業になったので農業を手伝う機会が増え、その影響を実感しました。農業の継続を助けたい、農業にもっと興味を持ってもらいたい、これが建築で補助出来たらというのがこの設計のきっかけです。



## □コンセプト

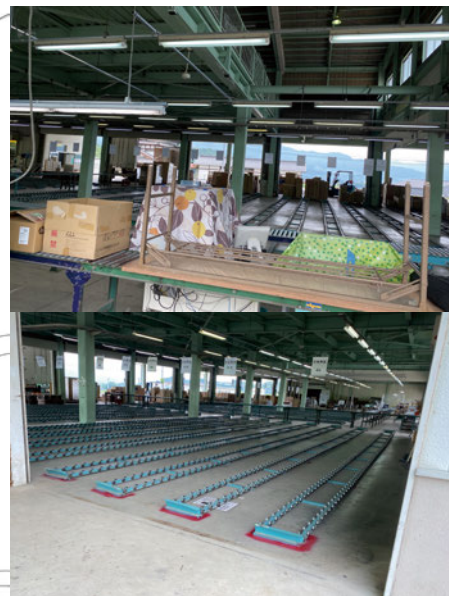
「共選所=見る。食べる。購入する。」  
「宿泊=畑の中に住む。」  
「シェアハウス=田舎に住まう。」

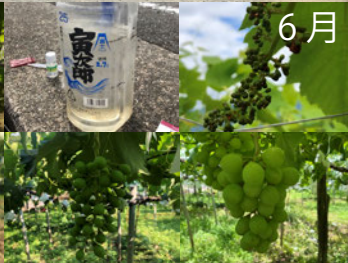
## □プログラム

「見る。食べる。購入する。」 「畑に住む。」 「田舎に住まう。」と段階的に農業の魅力を伝える。まずは、農作物の味、におい、見た目などから伝える共選所。そこで、農業に引き込む導入とし、農業体験など畑に住んでもらい農業の面白さ、大変さを学び、シェアハウスによって地域の人、仲間と共に平日は仕事、休日は農業をしていくことを目指す。

## □デザイン

共選所、市場を同じ空間にすることで農業の作業の臨場感を伝える。市場は畑の中も売り場の一部とする。宿泊の部屋は、リビングの空間をぶどう棚の中にし、上は植物下は土で季節、天候に左右させることで自然を伝える。シェアハウスは、もともとの居住空間、仕事部屋の機能をそのままに、平日は仕事、土日は農業、自分の生活の中に農業をいれる。





今年度は、新型コロナウイルスの影響で大学の授業がリモート授業になりました。大学の近くにいる必要がなくなり、実家で授業を受けることが可能となりました。実家での時間が増えたことで、農業にかかわる時間が増加し卒業設計のことは忘れ、前期のほとんど農業に没頭しました。その楽しさを伝えたい、もっと農業に興味を持ってもらいたい、知ってもらいたいと思い、今回日誌のまとめを行いもっと興味を持ってもらいたいと思っています。

実家では、主にももぶどうを栽培しています。5月から6月にかけてぶどうが開花し、房をつくる作業に入ります。縦に長い房から3cmほどにして成長させて見たことのあるぶどうの大きさになります。ももは、ある程度の実を残して行きます。いつの木から1/3程の数にするためたくさん果実を落とすため、モモの毛でかゆくなるのがとても大変な作業になります。

意外と知られていないのがぶどうの種がなくなる方法でした。これには、ジベレリン処理という工程があるからになります。この作業は2度行う作業になり、無種子化を1回目に着粒安定、果粒肥大促進を1回目、2回目と分けて行きます。薬を水に溶かして行きますがぶどうに付けた際に目印になるように食紅をいれます。大きくなる様子を右上、左下、右下というように粒を大きくします。

1回目のジベレリン処理をしたぶどうを梅雨の時期に雨から守るためぶどう一つ一つに傘をかけます。ぶどう棚に傘を被ったぶどうが梅雨の訪れを感じることができます。2回目のジベレリン処理をぶどうは袋に入れた後は約1か月ほど、色が来るのを待ちながら糖度が上がり出荷できるぶどうになります。また、シャインマスカットの場合は糖度を測ってもらい出荷になります。



収穫はももからはじまります。今年は、大雨の影響で収穫直前にも木が一本折れたのがとても印象にあります。植物を相手にしているので、自然災害の影響を受けた形になります。このことで農業の難しさを学ぶことができたと思います。「桃栗3年柿8年」というくらい木の寿命を早いので一本の内の半分が収穫できなくなりましたが残りのすべてはきれいにももことができました。

デラウエアの収穫の様子です。今年のデラは、梅雨が長引いたので影響をもち、約1/3のデラが出荷できなくなってしまいました。出荷できるものも少ししかなくその内8割はワインの工場に引き取ってもらいました。今年は周りの農家の影響もすごく梅雨の長さを改めて実感し、今まで苦労が無駄になる結果となってしまいました。

巨峰の出荷。もも、デラウエアと収穫できないこともあったので心配しましたが、ほとんど出荷できる状態でした。出荷までは、袋をかけた状態なので開くまでどんなぶどうかは、見えないですがあげてびっくりととてもきれいにできてました。今までの苦労が報われた感じがしました。農業は果物ができたときの達成感を味わうことが、楽しく感じる要素になると思います。

シャインマスカットの出荷の様子になります。お父さんが手塩にかけて育てたので、しっかりと糖度も来ていて色もよいぶどうができました。一番育てやすく出荷しやすく、買取も高いのありがたい品種です。シャインマスカットが出荷する最後の品種になるのでぶどうのメインイベントが終わりです。また1年土づくりから収穫に向けて走り出します。